

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善のポイント

(国語力向上タスクフォースの提案から)

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

本県の児童生徒に身に付けさせたい力 ～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～

- 文章の中心的な部分と付加的な部分、問題提起の部分と具体例、まとめの部分などを読み分けて要旨を捉えたり、問いの意図やその解決に至る経緯を正しく理解したりする力。
- 目的に応じて必要な情報を集めるための見通しをもって臨み、根拠として取り上げている内容が適切であるかどうかを吟味したり、また、その根拠が適切である理由が明確になるように自分の考えをまとめたり、表現上の工夫をしたりする力。
- 相手の意図を捉えながら自分の考えを明確にもち、その考えを深めるために、場に応じた適切な言葉遣いで話したり、書いたりしながら、互いに伝え合う力。

正確に読み取らせるためには！！ —教科書の内容や問題文の意図、グラフ等が示す意味などの読み取り—

何が書かれているかを的確に捉えさせよう！

• アンダーライン
• 丸や四角での囲み
• 図や表
などで



• 重要な部分、問題提起の部分と具体例、まとめの部分などを、読み分けさせる。
• 主語と述語や、指示語、修飾語などに注目して、読み取らせる
• 組み合わせや、相互関係を整理して、まとめさせる。



主体的・対話的で深い学びの視点からは！！

自分の思いや考えを「書く」場面を増やそう！

• メモ
• 付箋
• ホワイトボード
などで



• 箇条書きで整理させる。
• 思いついたことを、たくさん書き留めさせる。
• 書き足したり、削ったりして推敲させる。

自分の思いや考えを深めるために他者の意見を取り入れる場面を増やそう！

• スピーチ
• ペア学習での意見交換
• グループでの話し合い
• 討論
• ポスターセッション
などで



• 出し合う交流活動→様々な資料から情報を出し合わせる。
• 比べ合う交流活動→考え方を比較したり参考にしたりさせる。
• 高め合う交流活動→根拠を明確にして意見を述べ合ったり、批評し合ったりさせる。
• 磨き合う交流活動→習得した知識や技能を活用させる。

学んだことを振り返る場面の工夫をしよう！

• ノート
• ワークシート
• 振り返りシート
などで



• 課題の答えを確認させ、自分の考えをまとめさせる。
• 課題を解決した達成感と、次への課題意識をもたせる。
• 個々の振り返りだけでなく、共有によって認め合わせる。

深い学びにつながる三つの発問は！！

1 別の言葉に言い換えてみよう。

例「きれい」ってどんな様子なんだろう。別の言い方をしてみよう。
例「たとえ」(比喩)を使って表したら、何と言えるだろう。

2 比べてみよう。関連づけてみよう。

例「きれい」と「美しい」ってどう違うんだろう。
例「何か」とつながっていないかな。
例 前にも同じことがなかったかな。

3 そう考えた根拠と理由は何だろう。

例「なぜ」「どうして」を互いに言い合ってみよう。
例「考え」のもとになった「言葉」(根拠)は、どれだろう。
例「言葉」(根拠)をもとに、なぜそう考えたかを説明しよう。

